

図工・美術研究委員会

1 研究テーマ

「身近なものに美を感じ、生涯にわたって美術を楽しんでいこうとする

気持ちを育む指導のあり方 ～ 生徒の実態を生かした題材の決め出し～」

2 研究内容

公開授業研究日 平成 21 年 11 月 18 日 (水)

授業会場及び授業者 常盤中学校 高坂 委 先生

授業学級 3 年 1 組 (34 名)

助言者 下伊那郡高森町立 高森中学校長 窪田 正典先生

題材名 「卒業制作～未来の私へ～ (絵や彫刻など)」

主眼 およその制作の見通しを持った生徒が、学習カードに書かれた教師のアドバイスを参考にしたり、過去の学習経験を思い返したりしながら、試行錯誤していく活動を通して、自分のイメージや願いに近づくように、配色、描き方、バランス (大きさ・配置・数)、布との関係性などを考え、置いたり、描いたりしていくことができる。

授業の様子



制作カードで本時の制作課題を確かめ、教師の作例や友だちの作品の鑑賞によって、表現の願いに近づくよう色彩や描き方を工夫する視点を確認した後、生徒たちは夢中になって制作に取り組んだ。配色カードや資料写真を参考にしながら自分のイメージに合う色作りをしたり、表現したい感じに近づくよう描き方を工夫したりする姿が多く見られた。友だち同士で自然にアドバイスし合ったり、教師の助言を素直に受け止めて制作に生かしたりする姿も多く見られた。